

IMAGINE

弥 生



第2学年通信 第12号

発行日：令和4年2月28日（月）

発行者：郡山東高校2学年スタッフ

教務部より

最後の考査が終了し、一週間が経ちました。3年生の先輩は国公立大学の個別試験（二次試験）がちょうど終わり、卒業式を迎えるところですね。さて、皆さんは、いわゆる3年生0学期をどう過ごしているのでしょうか。いろいろなことがあったこの一年ですが、これからの一年は、真に「夢の実現を目指す者」として、量と質の両面から学習の姿勢を貫き、突き進む年であってほしいと願います。「量」の面からは、学習開始時間を決め習慣化することと学習時間の確保です。具体的な時間数は今まで言われてきたとおりです。また、高校入試期間や春休み期間をチャンスととらえ、1、2年の復習に充ててください。「質」の面からは、ただの暗記に終わらず、なぜそうなるかを理解するよう心がけましょう。また、問題を解いて、正解したことに満足して終わらず、考え方もしっかり理解するようにしましょう。そして必要であれば2度3度同じ問題をやって、使いこなせるようになってください。そして、できるだけ具体的に学習目標を立て実行に移していきましょう。以上、改めて受験生としての学習として大切なことを書いてみました。有意義な年度末としましょう。

進路指導部より

先日の25、26日には国公立大学の前期2次試験が実施されました。皆さんもう1年切っていますね……。先週、1月進研記述模試の結果が返されました。しっかりと結果を受け止め、今のうちから入試期間・春休み中の過ごし方について計画を立てましょう。理社はこれからの1年でかなり伸ばすことができる教科です。今後は、国数英3教科の成績を下げずに、つまり3教科にかかる学習時間は減らさずに、理社の学習時間を増やして力をつけていきましょう。ほとんどの国公立大学は5教科7科目を課しています。総合点の勝負ですので教科のバランスが重要です。19日（土）に実施された大学入学共通テスト模試はどうでしたか？初のマーク模試で時間が足りなかったり、マークミスをしたりとハプニングがあったようです。共通テストは問題数が多く、確実な基礎力と問題を解くスピード力が求められます。次回の模試は4月の進研記述模試です（3月5日〔土〕の希望者対象全統模試も頑張ろう）。理社も含め、総合点がアップすることを期待しています。

生徒指導部より

郡山東高校2学年としての日々も残り少なくなってきました。3月は、3年生の卒業式や高校入学試験があって生徒休業日が多くなるため、学校に登校する日は数えると10日もありません。このあたりで一度、2年生としての1年間を振り返ってみてはいかがでしょうか。文化祭や修学旅行など、大きな行事があったときはそれぞれ忙しくて大変な時期もあったことだろうと思います。そのようなときに「忙しいから」「大変だから」を言い訳にしてすべきことを先送りにすることはなかったでしょうか？学習だけでなく生活全般について考えてみましょう。「ちょっとだけだからいいや」と、今すべきことはあるのにやはり先送りにして、スマホに手を伸ばして時間をやり過ごす、そんな一瞬はありませんでしたか？時間は後戻りできません。今日という日は今日しかないのです。一瞬の快樂に身を委ねることを自分の中で正当化して無駄にする時間は、努力する時間と同様、「ちりつも」でどんどん積み重なり膨大な時間になります。スマホを触るかわりにできたことを具体的に考え、もしそれをしていたら今の自分はどれだけ変わっていたのかを考えてみましょう。

